



日本の“宝島”あまくさ

# ほんど

まちづくり協議会だより

## 公民主動のまちづくり

去る8月19日・20日に三重県伊勢市の皇学館大学で行われた第8回全国高校生SBP交流フェアに、天草拓心高校と牛深高校の生徒と一緒に参加してきました。今回は全国各地より37校の高校生が集い、7月29日・30日のSBPアワード本選（オンライン）で勝ち残った7校の発表がありました。いずれの学校も素晴らしく優秀つげがたい発表で、天草の高校生たちも感銘し、大いに刺激を受けた様子でした。また、交流会では各地の生徒と交流を深めていました。この体験を今後の活動につなげ、自己研鑽と故郷のために活躍してくれることを期待しています。

松下幸之助さんは、松下政経塾の入塾審査で基準にしたのが、「運」があるかという点であり、「あなたは運がよいと思いますか？」と尋ねて「はい」と答えたもののみを入塾させたそうです。

また、活躍を続けている、大リーガーの大谷翔平選手の「人間性」を育てたとされる「原田メソッド」が注目されています。大谷選手が高校1年生当時に書いた“オープンウィンドウ64”をスポーツ紙が取り上げたことで有名になりました。

彼は真ん中に「ドラフト1位で8球団の指名」という目標を掲げて、その目標を実現するためには何が必要か、そこに至るまでの行動を書き込みました。特に注目されるのは、「運」「人間性」「メンタル」を得るため、下記の行動を心がけたことです。

- 「運」①挨拶 ②プラス思考 ③ゴミ拾い ④部屋掃除 ⑤審判さんへの態度 ⑥本を読む ⑦応援される人間になる ⑧道具を大切に使う
- 「人間性」①感性 ②感謝 ③礼儀 ④思いやり ⑤愛される人間 ⑥信頼される人間 ⑦計画性 ⑧継続力
- 「メンタル」①はっきりとした目標、目的を持つ ②一喜一憂しない ③ピンチに強い ④頭は冷静に心は熱く ⑤雰囲気流されない ⑥仲間を思いやる心 ⑦勝利への執念 ⑧波を作らない

これらを意識して地道にコツコツと努力したからこそ、今の大谷選手があるのではないのでしょうか。

お二人の考えは、私たちの日常生活の中にも、まちづくりの中にも参考にすべきことがあるような気がします。

少子高齢化が進む天草においては、天草の強みをどう生かすか、弱みをどう克服するか、どのように機会を利用するかなど、課題が多くあります。自分達の願い事を誰かにお願いするのではなく、何事も自分事と受け止め自分には何ができるのか考え、公民が刺激あうまちづくりにつなげていきたいと思ひます。

どのような事業でも核になるのは住民の皆様です。これからもよろしくお願ひいたします。



本渡まちづくり協議会  
会長 中川竹治

Vol. 31

令和5(2023)年10月1日号

### 目次

- 会長あいさつ……………P1
- 令和5年度事業計画・収支予算など……………P2~3
- 未来の大人応援プロジェクト(SBP)事業……………P4~6
- ふるさと応援寄附金のお礼……………P6~7
- 市内高校のSBP活動の紹介など……………P8

## ほんどのいま

令和5年9月1日現在  
(令和5.3.1との比較)

【本渡南】	男……………3,640人(-50)
	女……………4,158人(-52)
	計……………7,798人(-102)
	世帯数……………3,705(+1)
	高齢化率……………34.8%
【本渡北】	男……………5,402人(-73)
	女……………5,945人(-49)
	計……………11,347人(-122)
	世帯数……………5,234(+34)
	高齢化率……………24.7%
【亀場】	男……………2,088人(-1)
	女……………2,339人(+4)
	計……………4,427人(+3)
	世帯数……………1,906(+22)
	高齢化率……………25.7%
【柙宇土】	男……………280人(-1)
	女……………290人(-3)
	計……………570人(-4)
	世帯数……………262(+1)
	高齢化率……………49.8%
【志柿】	男……………1,171人(-24)
	女……………1,369人(-37)
	計……………2,540人(-61)
	世帯数……………1,186(-10)
	高齢化率……………38.2%
【下浦】	男……………751人(-23)
	女……………851人(-24)
	計……………1,602人(-47)
	世帯数……………743(-5)
	高齢化率……………48.2%
【楠浦】	男……………1,090人(-6)
	女……………1,177人(-13)
	計……………2,267人(-19)
	世帯数……………999(0)
	高齢化率……………40.6%
【本町】	男……………777人(-6)
	女……………787人(-8)
	計……………1,564人(-14)
	世帯数……………819(-2)
	高齢化率……………43.5%
【佐伊津】	男……………1,428人(-22)
	女……………1,612人(-7)
	計……………3,040人(-29)
	世帯数……………1,431(-5)
	高齢化率……………38.8%
【宮地岳】	男……………218人(-1)
	女……………226人(-6)
	計……………444人(-7)
	世帯数……………232(0)
	高齢化率……………56.5%
【合計】	男……………16,845人(-207)
	女……………18,754人(-195)
	計……………35,599人(-402)
	世帯数……………16,517(+36)
	高齢化率……………32.9%

## 【編集・発行】 本渡まちづくり協議会

【事務局】  
天草市 地域振興部  
まちづくり支援課  
〒863-8631  
熊本県天草市東浜町8番1号  
TEL 0969-32-6661  
FAX 0969-24-2744  
E-mail machidukuri@city.amakusa.lg.jp

## 市内高校のSBP活動紹介

### ～天草拓心高校SBP部～

SBP部が、今年度取り組んできた活動について紹介いたします。

6月9日に、「天草晩柑」を使った新商品開発のため、「食の天草にじ」様を訪問し、アドバイスをいただきました。

賞味期限を延ばすポイントや、試作品に対する意見をいただきました。引き続き開発を進めていきますので、新商品を楽しみにお待ちください。



▲訪問時や意見交換の様子▲

6月18日、防災用非常食「せんだご汁」の課題解決に繋がるヒントを得るため、球磨郡あさぎり町にある「株式会社あさぎりフレッシュフーズ」様を訪問し、アドバイスなどをいただきました。

課題であるだご(団子)が溶けてなくなってしまう点について、プロからのアドバイスをいただきながら、意見交換をして解決策について話し合いました。

また、造られている製品を試食させていただいたり、工場内を見学させていただいたりと高校生の良い経験になりました。



▲アドバイスをいただき、意見交換している様子▲

7月16日、銀天街で毎月第3日曜日に開催されている“まちはみんなの遊園地”で、天草市の花『ハマボウ』と『イルカ』をモチーフにしているオリジナルたい焼き「あまりん焼き」を販売しました。

今回は、福連木にある“かしの木”様のあんこを使用した「あんこ味」と、五和町にある“自然食品研究会”様の塩とにがりを加えた「塩あんこ味」を販売しました。

今後も販売を予定しておりますので、皆さんぜひお越しください！



▲7月の“まちはみんなの遊園地”での販売の様子▲

販売に来て欲しいイベントがございましたら、本渡まちづくり協議会事務局までご連絡ください。天草拓心高校SBP部にお繋ぎいたします。



**本渡まちづくり協議会委員 (敬称略)**

役職	氏名	備考
会長	中川 竹治	地域づくり団体
副会長	鬼塚 清武	楠浦地区振興会長
監事	濱崎 又幸	公募
"	森 暉夫	公募
委員	電子 研二	本渡南地区振興会長
"	金澤 一紀	本渡北地区振興会長
"	井上 数馬	電場地区振興会長
"	平山 辰巳	栢宇土地区振興会長
"	有江 浩三	志柿地区振興会長
"	川崎 宏	下浦地区振興会長
"	堀田 福男	本町地区振興会長
"	原田 康秀	佐伊津地区振興会長
"	中西 昭人	宮地岳地区振興会長
"	江崎 俊一	文化関係団体
"	原田 健二	体育関係団体
"	船田 公子	女性団体
"	山下 修平	観光関係団体
"	江崎 晃	産業関係団体 ※
"	横田 早苗	社会福祉関係団体
"	田口 珠代	子ども育成・青年団体

※は新任の委員さまです。

● ※本渡まちづくり協議会についての詳細は、  
本会事務局 (市まちづくり支援課)

● ☎ 32-6661 へお尋ねください。 ●

# 掘り起こそう本渡の宝 伝えよう本渡の魅力

～ 令和5年度 第1回まちづくり協議会を開催～

**令和5年度の事業計画・収支予算を審議**

令和5年度の「第1回本渡まちづくり協議会」を6月7日、天草市役所本庁舎で開催しました。

会議には、委員など22人が出席。令和4年度の事業実績・収支決算・監査報告や、令和5年度の事業計画・収支予算などについて慎重に審議され、いずれも原案のとおり承認されました。

本会では今年度も「まちづくり人材育成事業」「まちづくり研修」など、地域リーダーや担い手の育成を中心とした事業を展開するとともに、地域課題の解決に向けた「未来の大人応援プロジェクト(SBP)事業」などの取り組みを継続いたします。実施に際しまして、新型コロナウイルスが5類へ移行したものの、収束したわけではなく、引き続き感染拡大防止の対策に注力しながら、事業に取り組みます。

**各事業の紹介**

**まちづくり人材育成事業**

まちづくり人材育成事業は、まちづくりを推進する人材の育成を目的として研修を行うものです。過去に実施した人材育成事業を踏まえ、実践につながる見込みが大きい研修等を設定し、各地域で意欲のある方を募って実施することを検討しています。

**まちづくり研修**

まちづくり研修は、地域の特色を活かした取り組みを展開している団体や地域などを訪問し、それらの取り組みについて学び、意見を交換することで、気づきや発見を得て、まちづくりの参考としていただくことを目的に行う事業です。今年度も、本会委員や地区振興会職員を対象として、まちづくりに関する先進的な取り組みに触れる研修を検討いたします。

**協議会だより発行**

協議会だよりは、年2回本渡地域にお住まいの皆さんに配布しています。まちづくりに関する情報を、分かりやすくお伝えできる誌面にしたと思います。ご意見や要望などありましたら、本会事務局(市まちづくり支援課)または各地区コミュニティセンターへお知らせください。

**未来の大人応援プロジェクト(SBP)事業**

天草拓心高校と本会が連携し、「未来の大人応援プロジェクト」

クト(SBP)と題して地域課題の解決に向けた取り組みを進めています。内容としては、現在、天草拓心高校SBP部が中心となり、オリジナルたい焼き(あまりん焼き)と防災非常食に関する活動に加え、新たに天草晩柑を使った新商品開発を行っています。本会としては、今年度も引き続き「一般社団法人未来の大人応援プロジェクト」代表理事の岸川政之氏とともに高校と連携して取り組みを支援してまいります。(詳細については、4、6、8ページをご覧ください)

※SBP: Social Business Projectの略で、地域課題をビジネスの手法を用いて解決していくという取り組みです。具体的には、若者(高校生)が中心となり、地元にある地域資源(人、モノ、自然、歴史、産業など)と交流し、見直し、活用して、「まちづくり」や「ビジネス」を提案していく。そして、その取り組みを地域で応援し支えていくというものです。



**令和5年度 収支予算**

収 入	
予算額	21,230,000円
○天草市交付金	16,318,000円
○補助金収入	1,200,000円
○参加者負担金	320,000円
○繰越金	215,931円
○ふるさと応援交付金	3,176,000円
○雑入	69円

支 出	
予算額	21,230,000円
○運営費	691,000円
○事業費	5,646,000円
・まちづくり人材育成事業	(450,000円)
・まちづくり研修事業(委員研修)	(540,000円)
・まちづくり研修事業(振興会職員研修)	(384,000円)
・まちづくり講演会	(170,000円)
・未来の大人応援プロジェクト(SBP)事業	(3,322,000円)
・協議会だより発行事業	(780,000円)
○地区振興会活動費	14,885,000円
※10地区振興会の活動費	
○予備費	8,000円

**令和4年度 収支決算**

収 入	
決算額	19,532,283円
○天草市交付金	16,833,000円
○補助金収入	1,500,000円
○繰越金	225,910円
○負担金	153,000円
○事業収入	584,200円
○ふるさと応援交付金	236,152円
○雑入	21円

支 出	
決算額	19,316,352円
○運営費	766,379円
○事業費	3,786,248円
・未来の大人応援プロジェクト(SBP)事業	(2,320,352円)
・協議会だより発行事業	(858,337円)
・まちづくり研修事業(委員研修)	(484,696円)
・まちづくり研修事業(振興会職員研修)	(122,863円)
○地区振興会活動費	14,108,700円
※10地区振興会の活動費	
○交付金返還金	655,025円
※コロナ禍により事業の中止が相次いだため、交付金の余剰金を返還しました。	
○次年度への繰越金	215,931円

# 第8回全国高校生SBP交流フェア

## 学生の学生による学生のための祭典

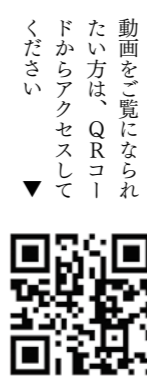
天草拓心高校SBP部が、7月29日・30日にオンラインで、そして8月19日・20日に三重県伊勢市の皇學館大学で開催された「第8回全国高校生SBP交流フェア」に参加し、活動内容についての発表や、他校との交流を行ってきました。その内容についてご紹介します。

まずは、本選が7月29日・30日にオンライン形式で開催されたため、参加団体は各高校などに集まって発表を行いました。今年度から、昨年度までのSBPチャレンジアワードを引継いだ「チャレンジ部門」に加えて、これまでにSBPチャレンジアワードで文部科学大臣賞を受賞した団体が発表する「プレミア部門」が新設されました。チャレンジ部門では、発表する22団体が3

グループに分かれ、2日にかけてオンラインで取り組み内容の説明(5分)、審査委員による質疑(5分)を行いました。そして、各グループから採点上位2団体が8月19日の決勝に進みました。プレミア部門では、今までに文部科学大臣賞を受賞した4団体が、取り組み内容の説明(10分)、審査委員による質疑(10分)を行いました。そして、採点上位1団体が8月19日に皇學館大学で、モデル事例として発表することになりました。

各団体とも、事前に作成した4分程度の動画によるプレゼンテーションを行い、その後審査委員からの質問がありました。どの団体も工夫を凝らした発表で、自分たちの取り組みを自信をもって発表しておりました。

天草拓心高校SBP部は7月30日のプレミア部門3番目で発表を行い、先輩方が続けてきた取組みの【あまりん焼き(オリジナルたい焼き)】と【防災用非常食の開発】に加え、新しく始めた取組みの【晩柑を使った新商品開発】に関して発表しました。(プロジェクトの内容は、8ページ参照)



動画をご覧にならたい方は、QRコードからアクセスしてください

### SBPアワード本選の講評と結果発表

8月6日には、7月29日・30日に行われたSBPアワード本選について、講評と結果発表がオンラインで行われました。評価については、チャレンジ部門は雅(50点以上75点未満)、輝(75点以上90点未満)、極(90点以上)の3段階で、プレミア部門はブロンズ(50点以上75点未満)、シルバー(75点以上90点未満)、ゴールド(90点以上)の3段階で実施されました。

天草拓心高校SBP部は、シルバー(75点以上90点未満)の評価をいただきました。残念ながら、決勝に進める団体には選ばれませんでした。審査員からは「活動を継続していく上で、ワクワクすること。楽しいことは何ですか?」「課題を解決するために、地域企業と協力して活動していることは素晴らしい。」「試作を繰り返し行い、納得する商品を作ってもらいたい。そして、その商品をどのような方法で、どのような方を対象として販売していくか考えてほしい。」「晩柑を使った新商品を作ろうと思った理由は何ですか?」とのコメントや質問がありました。



▲審査委員による結果発表と講評

### SBPアワード本選

SBP交流フェアとは、全国からSBPの取り組みを行っている高校が、取り組みの紹介や開発商品の販売を行いながら、参加者同士の情報交換やネットワークの構築のための交流を行うものです。同フェアは企画・進行・案内をSBPの取り組みを行っている高校生が担当し、地元大学生がその裏方をサポートするという、生徒や学生主体のフェアです。



▲発表の様子



▲本渡まちづくり協議会委員も発表を見学

### プログラム2

#### SBPアワード決勝・実践販売交流会・ワークショップに参加

第8回全国高校生SBP交流フェアのSBPアワード決勝など現地開催が、8月19日・20日に三重県伊勢市にある皇學館大学で開催され、天草拓心高校からも参加しました。8月19日は、まずSBPアワード決勝に進んだ6団体及び、プレミア部門で選出された1団体の発表を間近で聞きました。目の前で見る発表は、高校生が取り組んできた熱量を感じる事ができ、天草拓心高校生も刺激を受けたと思います。また、ダンスやクイズ、

演劇風の発表など工夫を凝らしていました。発表後の質疑応答では、審査員から大人でも答えるのが難しい質問を聞かれた際にも、はっきりと答えており、見ている観客も驚くものでした。



▲他の高校生と意見交換



▲発表の様子



▲展示・発表の様子



▲毛布で作ったタンカーを使って運搬



▲他の高校生が焼くのをサポート

その後の実践発表交流会では、各団体のブースで取組発表や販売、ステージでダンスなどを披露していました。天草拓心高校は、取り組んでいる内容について展示及びクイズを行いました。また、他の高校生と交流し、自分たちの活動について意見交換も行っていました。

翌日8月20日午前中は、8つのワークショップがあり、天草拓心高校は「Sの絆焼きを焼いてみよう!」と「防災ってなんなの?を考えるワークショップ」に参加しました。「Sの絆焼きを焼いてみよう!」では、天草拓心高校SBP部オリジナルたい焼き、あまりん焼きを他の高校生に教えたり、他の焼き器での焼き方を教えてもらったりと多くのことを学んでいました。「防災ってなんなの?を考えるワークショップ」では、防災とは何かという講義から、もやい結びやタンカーの作り方などの実践まで幅広く教えていただき、改めて防災について考えるきっかけになりました。

### 特別賞「徳野賞」を受賞!

8月20日の午後は、結果発表・表彰式・審査員交流がありました。天草拓心高校SBP部は、特別賞「徳野賞」を受賞しました。トクノスクール・農村研究所 代表理事/熊本大学名誉教授である徳野様から、



▲集合写真



▲審査員より授与

受賞理由や活動におけるアドバイスをいただいたので、今後の活動に活かして頑張っていきたいと思います。

# 善意の寄附ありがとうございました (敬称略)

## ふるさと応援寄附金として

〔令和4年9月～令和5年2月 本渡まちづくり協議会受領分〕

宇加治葉子 (大阪府)	渋谷 健人 (兵庫県)	山田 達也 (滋賀県)	荻山 宜樹 (長崎県)
濱崎日向子 (熊本県)	本多 健二 (神奈川県)	浦島好太郎 (熊本県)	貴志 隼己 (兵庫県)
溝口 公久 (福岡県)	佐々木千晶 (福岡県)	伊藤 雅子 (千葉県)	田中 匡彦 (千葉県)
吉井 博 (鹿児島県)	今井 博久 (栃木県)	出口 一也 (和歌山県)	和田 純一 (東京都)
株野 順博 (愛知県)	濱本 泰治 (大阪府)	池田 雄祐 (熊本県)	正木 良卓 (福岡県)
天野美保子 (大阪府)	木村 正夫 (大阪府)	藤原 和宏 (東京都)	福島美知恵 (東京都)
細田 逸平 (埼玉県)	牟田 清人 (福岡県)	長崎 曜 (滋賀県)	竹内 美保 (愛媛県)
山本 義継 (大阪府)	前田 晃代 (東京都)	卯野木邦宏 (神奈川県)	青柳 悟志 (東京都)
武内 俊憲 (東京都)	三木 敬三 (埼玉県)	原田 恵 (愛知県)	藤永 元 (東京都)
蓑田 進司 (神奈川県)	平木 淳矢 (神奈川県)	高谷 彰吾 (兵庫県)	矢野 雅夫 (北海道)
植田 淳子 (東京都)	吉田 正子 (神奈川県)	土肥 夕佳 (佐賀県)	島田 英周 (東京都)
平田 裕子 (熊本県)	岡田 知宏 (茨城県)	内海 優介 (北海道)	安田 孝子 (大阪府)
山下香菜子 (東京都)	林 優貴子 (大阪府)	田中健一郎 (滋賀県)	山本 成俊 (大阪府)
石田 怜 (東京都)	伊藤 孝治 (北海道)	西原まゆみ (滋賀県)	小川 達也 (千葉県)
村上 慶一 (兵庫県)	粕谷 智明 (栃木県)	金子 亮介 (千葉県)	甲斐 寿義 (大分県)
酒井 久宗 (福岡県)	明瀬 雅彦 (東京都)	桑原 秀利 (神奈川県)	安田 和弘 (大阪府)
野口 貴雄 (神奈川県)	衣川 枝里 (福岡県)	出石 佑樹 (熊本県)	鎌倉 優那 (長野県)
高木 類 (静岡県)	大塚 貴樹 (熊本県)	常田 昭裕 (埼玉県)	田中 修 (神奈川県)
早崎 優 (大阪府)	石川 紘子 (兵庫県)	近藤 健吾 (神奈川県)	村瀬 克典 (愛知県)
大仁田昌平 (神奈川県)	齊藤 賢 (神奈川県)	都 覚 (京都府)	井上 智之 (埼玉県)
酒井 嘉記 (東京都)	阿久澤信人 (神奈川県)	本渡 丞 (東京都)	山本 貴之 (石川県)
山田ひかる (愛知県)	橋本 了 (奈良県)	村上 純一 (福岡県)	宮崎 直久 (東京都)
松本 賢 (埼玉県)	森 信暁 (愛知県)	森 健一 (神奈川県)	宮内 邦裕 (愛知県)
鈴木 隆司 (埼玉県)	岡崎 賢先 (東京都)	神田盛恵子 (大阪府)	高桑 康輔 (東京都)
小山貢美雄 (神奈川県)	藤村ジョナサン元気 (東京都)	金子 昌史 (東京都)	荒井 志徳 (富山県)
中村勝太郎 (東京都)	久住 智幸 (神奈川県)	堀下 奈央 (鹿児島県)	尾林 浩正 (埼玉県)
岩崎 陽一 (千葉県)	太田 孝一 (千葉県)		

〔令和5年3月～令和5年8月 本渡まちづくり協議会受領分〕

池田 倫孝 (沖縄県)	正木 良卓 (福岡県)	福田 良治 (東京都)	原田 良介 (愛知県)
園田 達郎 (埼玉県)	山田 達也 (滋賀県)	金丸 和幸 (埼玉県)	酒井 和子 (福岡県)
西野 健二 (福岡県)	高間 絵奈 (愛知県)	竹口 真隆 (熊本県)	吉永 英人 (愛知県)

## 天草拓心高校SBP部 第8回全国高校生SBP交流フェアに参加して

1年 荒川 翔

私は、今回はじめて全国高校生SBP交流フェアに参加しました。そこで、代表校の発表や、審査員の方々の言葉を聴いて、自分たちのこれからの活動の参考になるような内容だと感じました。これからの活動に生かせるように今回聴いたことを参考にし、非常食や晩柑の商品を完成させて、来年の全国大会も頑張ります。そしていつも私たちの活動を支えてくださっている先生や、まちづくり協議会の方々、まちづくり支援課の方々に感謝もしきれません。ありがとうございました。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

1年 山形 はるな

私は、この全国高校生SBP交流フェアへの準備が一番大変でした。10分間で伝えることができるスライドや、審査される方に伝わる原稿作りなど初めてのことがたくさんありました。来年は審査員の方からの質問に対しても、チャレンジアワードに出場していた全国の高校生のように笑顔で的確に答えたいと思いました。

1年 岩崎 舞侑

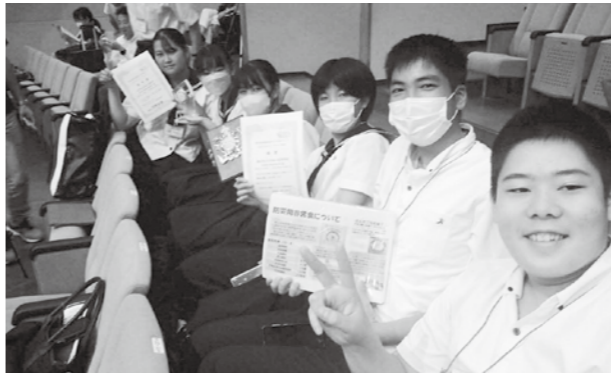
私はたくさんの方と交流して、自分の視野を広めることができました。特に印象に残っているのは、高校によってSの絆焼きの作り方が違い、その作り方に強いこだわりを持っていらっしゃるという事です。より、私たちの商品開発に力をかけて取り組み、天草を盛り上げていきたいと思いました。

1年 松藤 陽香

私は、全国高校生SBP交流フェアで決勝に進んだ団体の取り組み発表を実際に生で観て、各団体のスライドのまとめ方や発表の仕方、審査員の方々の質問に対する受け答えなど、同じ高校生とは思えないようなクオリティーの高さに刺激を受けました。今回学んだことを今後の自分たちの活動に活かしていきたいと思いました。

1年 井上 彩

私は、この全国高校生SBP交流フェアを通して全国の高校生たちから学べるのがたくさんあり、私にとってとてもいい経験になりました。この経験を



これからの活動に活かしていきたいです。また、来年度はプレミア部門で金賞を受賞できるように頑張ります。

1年 田淵 優人

私は、この全国高校生SBP交流フェアに参加し、決勝に進まれた団体の方々の発表を観て、どの団体も内容が分かりやすかったです。丁寧に発表されていたのでレベルが違ったのだと思います。そして、全国の高校生の熱い思いが心から伝わり、すごいと思いました。来年は晩柑塩、晩柑ソース、防災用非常食を完成させて発表ができるように頑張ります。

野嶋 義晃 (大阪府)	竹内佐和子 (福岡県)	白井 和也 (熊本県)	柳本 志帆 (長崎県)
吉廣めぐみ (福岡県)	江口 幸恵 (福岡県)	田中あすか (愛知県)	木口 淳 (愛知県)
中川美奈子 (東京都)	河野 恵 (広島県)	吉塚 治生 (熊本県)	益田 大也 (熊本県)
竹内 正彦 (北海道)	佐々木和裕 (千葉県)		

匿名希望の方を含め、合計 **457名**の方々に寄附をいただきまして、ありがとうございます。寄付金はこのような事業に活用させていただきました。→



「ふるさと納税」で、天草本渡のまちづくりを応援してください。応援したいまちづくり協議会または地区振興会を指定できます。市外にお住まいのお知り合いの方がいらっしゃいましたら、ご周知くださいますようよろしくお願いいたします。